

## 2007年 6月 松坂屋月次営業報告

## 1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)	入店客数(%)	営業日数増減
名古屋店	8.1	47.1	5.9	±0日
岡崎店	0.5	1.9	7.1	±0日
名古屋駅店	6.8	4.3	7.3	±0日
豊田店	8.4	3.3	3.3	±0日
高槻店	0.7	5.9	7.3	±0日
上野店	3.5	21.0	4.7	±0日
銀座店	1.5	5.8	1.8	±0日
静岡店	4.3	10.6	3.5	±0日
合計	4.5	100.0	3.7	

## 2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	2.0	7.4
婦人服・洋品	6.1	24.1
子供服・洋品	19.1	2.1
その他衣料品	1.4	3.7
衣料品計	5.4	37.2
身の回り品	12.1	10.5
化粧品	8.0	3.2
美術・宝飾・貴金属	1.0	7.6
その他雑貨	3.2	6.1
雑貨計	2.2	16.9
家具	4.7	2.3
家電	8.7	0.8
その他家庭用品	1.3	4.3
家庭用品計	1.4	7.4
生鮮食品	5.5	4.1
菓子	7.3	6.0
惣菜	6.4	6.7
その他食料品	6.5	7.7
食料品計	2.0	24.5
食堂・喫茶	31.7	2.6
サービス	17.1	0.6
その他	8.4	0.4
合計	4.5	100.0

## 3. 商況概況

<p>&lt; 主な店舗別売上高概況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30日のクリアランスセール(昨年7月1日)による売上増が大きく寄与し、全店売上高は対前年+4.5%。</li> <li>・前年実施を上回った店舗は、名古屋店、岡崎店、名古屋駅店、豊田店、上野店、銀座店の6店舗。</li> <li>・名古屋店は、本館9、10階レストラン街の改装オープン効果もあり、対前年+8%の売上。</li> <li>・上野店は、春の改装効果の持続により対前年プラス。</li> <li>・静岡店は、昨年の集客催事の反動で入店客数、売上とも減。</li> <li>・中元ギフトは、早期受注策が奏功し、全店で大きく前年にプラス。特にインターネットの受注が大幅増。</li> </ul> <p>&lt; 主な商品別売上高概況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人服・洋品は、クリアランスセール効果もありヤング・ミセスとも前年増。</li> <li>・子供服・洋品はクリアランスと催事で子供服が高伸び、前年大幅増。</li> <li>・身の回り品は、ラグジュアリー・ジュエリーが好調で前年比2桁増。</li> <li>・食品ギフトの計上方法変更により、その他食料品は減少したが、食料品計では前年増。</li> <li>・食堂・喫茶は、名古屋店本館レストラン街のオープン(5/30に9店舗、6/27に2店舗オープン)に伴う入店客数増により、前年大幅増。</li> </ul>
---

(注) 1、2表とも、構成比の合計は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

## 2007年6月 横浜松坂屋月次営業報告

## 1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	入店客数(%)	営業日数増減
横浜松坂屋	4.7	2.0	±0日

## 2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	10.1	4.2
婦人服・洋品	1.7	16.6
子供服・洋品	5.4	6.6
その他衣料品	8.4	2.0
衣料品計	2.5	29.4
身の回り品	10.9	3.7
化粧品	0.2	2.0
美術・宝飾・貴金属	20.4	6.2
その他雑貨	26.4	1.4
雑貨計	11.9	9.6
家具	-	0.0
家電	42.4	2.4
その他家庭用品	11.9	2.0
家庭用品計	26.4	4.4
生鮮食品	0.5	12.0
菓子	1.5	6.4
惣菜	3.0	10.0
その他食料品	39.3	7.4
食料品計	12.4	35.8
食堂・喫茶	7.2	1.9
サービス	18.8	7.3
その他	4.0	7.9
合計	4.7	100.0

## 3. 商況概況

## &lt; 主な売上高概況 &gt;

・売上高は対前年 4.7%。

・入店客数は、対年 2.0%

## &lt; 主な商品別売上高概況 &gt;

・紳士服・洋品は、カジュアル衣料が苦戦。

・子供服・洋品は、前年大口特注の反動減。

・その他衣料品は、催事会期の変更で減。

・身の回り品は、婦人靴とハンドバッグが好調。

・美術・宝飾・貴金属は、前年大口特注の反動減。

・家電は、大口特注により前年プラス。

・その他食料品の減は食品ギフト券計上方法の変更による。

・食堂・喫茶は、好調に推移し、前年プラス。

・サービスは各種テナント部門の好調により、前年増。

(注) 2表の構成比合計は、計算処理上必ずしも100%にはなりません。

お問い合わせ先 (株)松坂屋ホールディングス (名古屋)  
 広報・IR室 (東京)

052-264-7028  
 03-3572-1201

**Matsuzakaya**  
 HOLDINGS